



紙面ビューアー  
紙版の購読でも「最新刊限定」で  
登録はこちらから▶

2026年 (令和8年) 1/21 水曜日

号外

電気新聞

The Denki Shimbun

お問い合わせ TEL (03) 6899-5797 (代)  
(平日午前9時30分～午後5時30分)

一般社団法人 日本電気協会新聞部 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1  
[総局] 西部(大阪)・中部(名古屋) [支局] 札幌・仙台・富山・広島・高松・福岡

# 柏崎刈羽6、起動



原子炉モードスイッチを起動に切り替える運転員  
(写真は中央制御室、代表撮影)

## 14年ぶり、東電初の再稼働

東京電力ホールディングス (HD) は21日、柏崎刈羽原子力発電所6号機 (ABWR、135万6千キロワット) の原子炉を起

### 来月26日、営業運転復帰

動した。制御棒を午後7時2分 から引き抜き、核分裂が開始。午後8時28分に臨界に達した。順調に進めば27日に系統に並列

し、点検のための原子炉停止を挟んで2月26日に営業運転入りする。起動は約14年ぶり。福島事故から15年の節目を前に信頼回復、安全確保に努めてきた東電HDの原子力事業が再始動する。

21日は中央制御室で1班13人の運転チームが起動に対応。制御棒を操作すると制御棒挿入状態を示すランプが消え、原子炉が起動した。東電HDは「設備の健全性確認を慎重に進め、気づきがあれば適切に対処する」とのコメントを発表した。

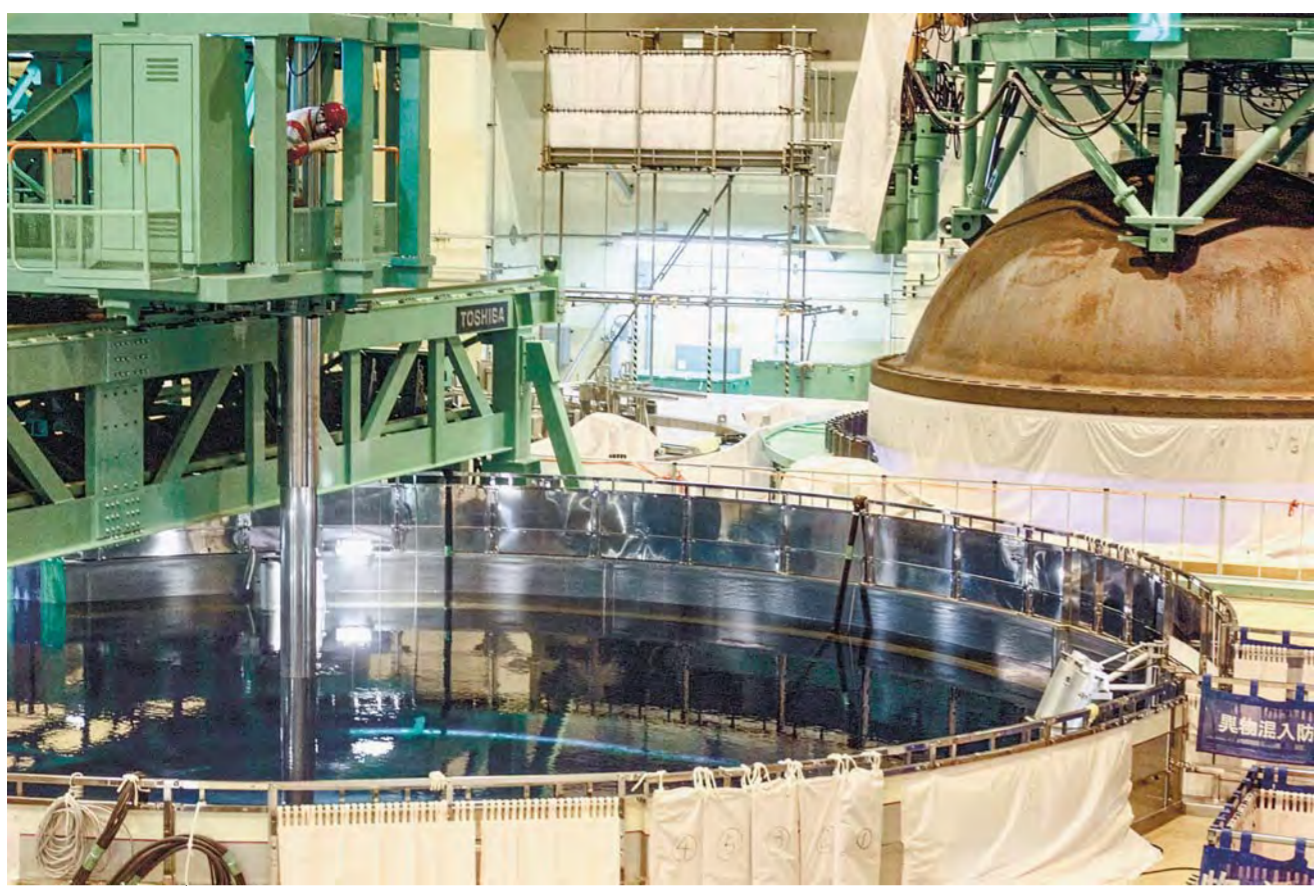
柏崎刈羽原子力発電所では2021年に不正ID事案が発覚。東電HDは体制や制度を見直し、新潟県民に安全確保の情報を伝え信頼回復に努めた。

昨年の県民意識調査でも信頼性は低いままだったが、安全対策の認知度が高いほど「再稼働の条件は整っている」との回答で肯定する意見が目立った。これを受け昨年12月、新潟県の花角英世知事が再稼働を容認した。

営業運転に入れば脱炭素電源の供給力として、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出削減や需給逼迫の改善に期待がかかる。1基の稼働で年1千億円の利益改善効果も見込んでいる。

柏崎刈羽原子力発電所再稼働を巡る動き

2026	2025	2024	2023	2021	2020	2017	2013	年
1	3	3	9	2	10	12	9	月
▼6号機、14年ぶりの原子炉起動	▼新潟県技術委が安全対策に関する報告書まとめ	▼経産相が新潟県、柏崎市、刈羽村に再稼働の理解要請	▼新潟県、福島事故の3つの検証とりまとめ	▼IDカード不正で重要度「白」の判定	▼7号機の設工認取得 (BWRとしては初)	▼6、7号機原子炉設置変更許可の審査案決定	▼6、7号機新規基準適合性審査を規制委に申請	
▼新潟県、福島事故の3つの検証とりまとめ	▼6号機の燃料装荷完了	▼東電HD、7号機特重施設未整備のため再稼働は6号機に集中	▼政府、柏崎刈羽地域の緊急時対応を了承	▼政府、原子力立地地域特措法の対象エリア拡大決定	▼知事、県内首長との懇談会	▼新潟県、再稼働に関する公聴会	▼東電HD小早川社長、新潟県議会で1千億円の拠出と1、2号機の廃炉検討表明	
▼6号機の再稼働に向けた技術的準備整う	▼新潟県の県民意識調査の最終結果公表	▼知事、再稼働容認を表明	▼新潟県議会で知事判断を信任	▼知事、経産相に再稼働の理解表明	▼東電HD、6号機の再稼働に向けた使用前確認申請を規制委に提出			



### 燃料装荷

2025年6月、安全対策工事が一巡した後、燃料装荷を開始。慎重に作業が進められた



### 訓練重ね

現場の運転員は訓練でスキルを磨き続けた(2025年11月の花角英世新潟県知事の現場視察時)



### 理解活動

東電HD幹部も参加し、新潟県域で県民に安全対策などを説明して回った(写真左は福田俊彦副社長)

## 柏崎刈羽6 起動までの記録

### 審査申請

2013年9月、柏崎刈羽原子力発電所6号機の新規制基準適合審査を申請する(右、川尚史常務執行役)



### 安全対策

地震や津波、台風などから発電所を守る安全対策工事は2025年6月までに一巡した(写真は13年10月に実施されたフィルターベントの吊り込み作業)

### 仲間の輪

発電所内のコミュニケーション活性化へ入構者に声をかけする稲垣武之常務執行役・柏崎刈羽原子力発電所長



### 覚悟語る

2023年12月、核燃料移動禁止命令の解除を受けて会見する小早川智明社長